

会 議 録

会議名 (審議会等名)		(仮称)相模原市市民の森検討委員会		
事務局 (担当課)		経済部津久井経済観光課 電話042-780-1405 (直通)		
開催日時		平成25年3月14日(木) 14時00分～17時00分		
開催場所		相模原市役所 職員会館1階 第1検診室		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)		
	その他	1人(別紙のとおり)		
	事務局	8人(津久井経済観光課長、他7人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1. 議事 (1) 平成24年度検討結果報告書(案)について (2) その他 2. 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員長の発言、□は委員の発言、●は事務局(業務受託者含む)の発言)

議事

(1) 平成24年度検討結果報告書(案)について

- それぞれの候補地がどのような性格をもっているかについては報告書にまとめた通り。

地権者のこともあるので候補地をこの場で一箇所に決めるのは難しい。どのような条件で進めていくのが良いかについてこの場で話し合い、最終的には市の方で決めていただくことになるだろう。

今期の委員会については、本日が最後。本日は、次年度に向けて報告書をまとめていきたい。具体的には、報告書の内容を皆で確認をする作業がメイン。

● 事務局から報告書についての説明

- それぞれの候補地に関する議論はあるかと思うが、まずは報告書全体の構成について良いかどうかの議論をしたい。その後個別の検討事項について話し合う。検討の経過については如何か？

- 報告書では、もう少し検討委員会の目的や方向性などについて明確に記述した方が良い。

- 確かに検討委員会で何をするのかという目的が現在の報告書案では明確になっていない。

現地視察による各候補地に評価表は掲載した方が良いと思うか？

- 参考資料として載せるのは良いと思う。

- 採点基準を明確にしていない中で、各自の想いだけで点数をつけているところもある。

- 採点は現場を見て行ったわけなので、その評価/成果をなんらかの形で残した方が良い。全く掲載しないというのはどうかと思う。

- あくまでも一日の現地調査を行った結果の感じ方であることを明記した方がよい。
- 残しておいた方がよいという意見は多いようなので、表現に注意し、報告書本体には掲載せず、参考資料として資料編に入れるという扱いとしたい。
ゾーニングについては掲載しても良いと思うか？
- ゾーニングについての意見はもっと皆さん言いたいことがあると思う。今年度はここについては触れない方がすっきりするのでは？
- ゾーニングを今年の成果として掲載するのは時期尚早であると考えられる。具体的なゾーニングではなく、ゾーニングのイメージの説明を掲載するに留まったほうがよい。
ポテンシャル評価についても掲載するか？
- 他の候補地も含め、十分に視察をしたわけではない。十分に現地を見たわけではないということを前提にしなければならない。
- ご指摘の通り、代表的なエリアを見た中での話である、ということにしかできないと思う。
- 表現を慎重に考える必要がある。
- ところで、候補地のなかでの城山のゾーンはどこからどこまでか。例えばもっと奥まで行けばもっと魅力的なところがある。
- 今後ゾーンが変わる可能性もあるのか？
- 周辺については今後考慮する可能性はある。
- 皆が訪れて楽しめるという場所はどこにあるのか？キャンプだったり、釣りだったりというのはどこのゾーンに当てはまるのか？
- もともと林業育成などを考えているので、川で魚釣りをするというようなことはあまり考えていない。

□ 立地的な話をすると相模原の6割が山林である。ただし、山を維持するのは費用がかかる。市民は整備された山から恩恵を受けているということに気付いてほしい。それが森林ビジョンの目的に入っている。レジャーを目的とする以上に森林の重要性を知ってもらいたいということが森林ビジョンの骨子にあると思う。

● 23年度からの話が続けているということを明記したい。

□ どの候補地が一番良いかという結論はどこにあるのか。次につなげるにはそれがあつた方が良いのでは。

○ それについては、今回の報告書には書かない。市の方で、目的にあつた内容で絞り込みを行ってもらおう。この報告書では、各候補地におけるポテンシャル評価や性格付けが本委員会での重要なアウトプットとなる。また最後の性格付けの表現は工夫が必要。表だけではなく文章をつけて説明した方が良い。

○ 検討の経過での市民の森の要件に関する議論の記述部分が足りない様な気がする。各委員からは意見をもっといただいているはずなので、この部分を充実させた方が良い。

□ 津久井広域道路がもうすぐ開通されるのであれば、もっと考慮すべき。

(2) その他

● 今後は、報告書(案)をもとに実際に市としてどこが良いかの検討を行い、市で候補地を絞る予定。今回候補地から外れた所についても森林セラピー等の活用を今後検討していく。

また次年度については、規則を1年延長させていただき、検討委員会を予定しているので、そこで具体的な基本構想の内容の検討を行う。

なお、次年度以降の進め方に関する記述は資料編の前に記載する予定。

□ 候補から漏れた森林の利用方法についての検討は誰が行うのか？

● 庁内で検討していく予定。

○ 今後の進め方について掲載しても良いか。

【全委員】承諾する。

- 他に意見があれば事務局へ。

以 上

(仮称)相模原市市民の森検討委員出欠席名簿

【検討委員会委員】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	下村 彰男	東京大学 大学院 農学生命科学研究科 教授	委員長	出席
2	坂本 重光	津久井郡森林組合 専務理事	副委員長	出席
3	小野沢 良雄	津久井地区自治会連合会 会長		出席
4	平林 清	光が丘地区自治会連合会 会長		出席
5	金子 匡甫	東林地区自治会連合会 会長		欠席
6	吉山 茂利	相模原市観光協会 副会長		出席
7	滝口 清吾	公募委員		出席
8	畑 久男	公募委員		出席

【オブザーバー】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	石井 洋三	神奈川県 農政部 森林保全課長		出席